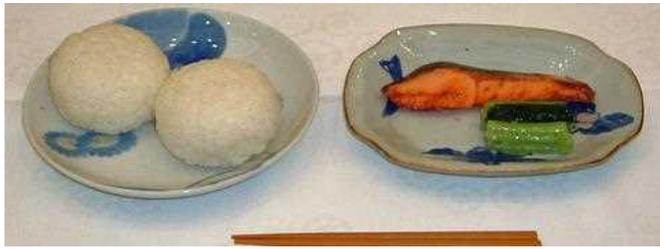




給食センター よしお

写真で見る学校給食の歴史

◆明治22(1889)年◆ *おにぎり* 焼き魚 *漬物



【日本で最初の学校給食】

学校給食の始まりは、山形県鶴岡市の私立小学校。

家が貧しくてお弁当を持ってこれない子どもがたくさんいたので、この小学校を建てたお坊さんがお昼を出したのが、日本で最初の学校給食です。

おもなできごと

(1889年)
大日本帝国憲法
公布

(1923年)
関東大震災



(1937年)
日中戦争起こる

(1939年)
第二次世界大戦
起こる

(1941年)
太平洋戦争始まる



(1945年)
終戦

(1946年)
日本国憲法公布



(1956年)
国際連合 加盟



(1964年)
東京オリンピック

山形県の小学校で始まった学校給食は、子どもたちにとって良い取り組みだと認められて、だんだん日本中に広まっていきました。ところが……

◆昭和17(1942)年◆ *すいとん



【戦争の影…】

大きな戦争(太平洋戦争)が始まり、だんだん食べるものが不足するようになると、ついには学校給食も中止になってしまいました。

戦争が終わっても、日本では食糧不足が続きました。小さく、痩せた子どもたちを見かねた世界各国から、脱脂粉乳や小麦粉、缶詰などの支援物資が届き、各地で学校給食が再開されました。

◆昭和22(1947)年◆ *トマトシチュー* 脱脂粉乳



【全国学校給食週間】

各国から届けられた物資をもとに、昭和21年12月24日、まず東京・神奈川・千葉県で学校給食が再開されました。これを記念して、12月24日からひと月後の1月24日からの一週間が「全国学校給食週間」になりました。

◆昭和20年代後半◆ *コッペパン、ジャム* ミルク *くじら肉の竜田揚げ* せんざりキャベツ



【くじら!?】

この時代、『くじら肉』が学校給食によく登場しました。

おわんにつがれている『ミルク』は、脱脂粉乳(*)をといたものです。

牛乳とちがって、とても飲みにくかったようです。

*脱脂粉乳: 牛乳の脂肪分をのぞいて乾燥させた粉末。

◆昭和30年代◆



◆昭和50年代◆



◆現在◆

【バラエティ豊かな献立】

学校給食はこれからも小・中学生みなさんの健康を願いながら、楽しい給食を提供します。